

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月28日

学校法人有馬学園

緑ヶ丘幼稚園

1. 本園の教育目標

何事も意欲的で、集中力があり、子どもらしい明るさを持ち、情緒的に安定した子どもの育成を目指す。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

様々なお友達との楽しい遊びや体験活動を通して、自分自身やお友達の大切さを実感し、これからの社会的変化に対応し、豊かな人生を切り開くための基礎・土台である生きる力を培う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	自己肯定感や他人を大切にできる心を培う保育についての工夫を行う。	B	子どもに対する適切な言葉がけの工夫や一人ひとりが意欲的に頑張る過程を大切にしました。
2	安全管理と安全教育を常に考えた保育を行う。	A	子ども達自身と共に安全のルールを考え、意識を持ち、園内の安全環境を徹底した。
3	保育の質の向上のために、自己研鑽や保育内容の見直しを行う。	A	自分の保育を他の先生に見てもらい、客観的な評価を生かし、より良い保育につなげた。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	子ども達一人ひとりに寄り添った細かい保育を行い、様々な体験活動を通して、年度末には子ども達の大きな成長が見られた。安全・安心を徹底し、楽しく充実した一年になった。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全教育	子ども達一人ひとりの行動可能性を把握し、先を見通した安全教育とともに、より安全な環境整備を引き続き徹底して行う。
2	幼児理解	緑ヶ丘幼稚園での様々な体験活動を行う前提として、幼児の個性や発達状況を理解し、その保育や体験活動と子どもの成長との関連を把握する。
3	カリキュラムマネジメント	年間や月そして日々の指導計画を根拠に保育を実施する際、子ども達の現況にあった弾力的に保育を行い、常に反省改善する姿勢を持つ。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・日々や定期的な職員会議等で様々な子どもに関する情報共有や意見交換、ケーススタディ等の研修会を積極的に行い、子ども達や保護者に寄り添った保育の姿がよく見られた。
- ・毎月の避難訓練や AED 講習、警察による防犯教室や教職員の不審者対応研修、そして常駐警備員による見守り等は独自の安全・安心対策の徹底の表れと理解した。
- ・今後も一人ひとりの子どもに寄り添った安全・安心で、質の高い保育を期待する。